

精神障害者地域生活支援  
とうきょう会議  
運営委員会 議事録

期日：2014年8月28日（木）

時間：19:00～22:00

場所：すぎなみ151

司会：鈴木 記録：三村

参加者：理事4名中 4名、監事2名中 1名、運営委員10名中 6名、  
センター部会   名、事務局6名中 5名、会員   名 計 15名

理事（出席者は氏名の前に○）							
○	鈴木 卓郎	○	金川 洋輔	○	近藤 淳	○	半田 佳子
監事							
	小見山 政男	○	佐藤 あゆみ				
運営委員							
○	東 貴宏		今村 まゆら	○	斎藤 隆彦		佐藤 有紗
	佐野 澄子	○	瀬川 聖美	○	田中 直樹		西根 博貴
○	蓮沼 和音	○	樋口 勝				
支援センター部会からの参加							
事務局							
○	丹菊 敏貴	○	亀山 元	○	新堀 裕樹	○	三村 豊
○	大倉 由利江		進藤 征寛				
会員の参加							

1. 項目： 東部まっぷ掲載対象拡張に伴う検討事項

担当： 近藤淳

【要旨】

- (1) 東部まっぷ掲載対象拡張に伴う補正予算の検討について
- (2) 東部まっぷ掲載対象事業所の範囲について
- (3) 東部まっぷ掲載料の徴収方法について

【検討の概要】

近藤さん

- ・ 2回目の実行委員会を終えたところ。
- ・ 今までは2年に1度の発行であったが、事業所の情報はさほど変化がないため3年に変更。
- ・ 相談支援事業所の枠を新たにつくる

募集方法

- ・ MLとHPで周知をかけ、Tokyo Letterにも挟む。

## 取りまとめ

中部（あおば福祉会 中元菊池）多摩（MEWの鈴木、わかくさの杉江）が行う。

- ・発行部数は3000部を予定。（前回2000部）
- 掲載事業所が増えればページ数も増えていく。30ページ増えるため90ページに。  
掲載料：新規5000円、前回掲載4000円  
販売料：1冊1000円

### 【結論】

- (1) 年度末に仮払いを消しこんで経理上の処理を行う。
- (2) 東部+多摩中部
- (3) 任意団体の規約作ったうえでゆうちよに振り替え口座が作れるのか（丹菊が確認）

### 【今後の検討事項】

- ・運営委員会から費用は出せないのか？
  - ・研修等でも販売を行う？
  - ・徴収区分（掲載の新規 or 継続、とうきょう会議の会員 or 非会員）に関しては再検討
  - ・団体の掲載…今までは事業所のみであった
- しかし、前向きに検討していくことに。（今回でいうイロナナ）

---

## 2. 項目： 障害者手帳の記載事項について

担当： 半田佳子

### 【要旨】

役所の対応で記載事項が個人ごとに異なっている可能性があるため、その現状が知りたいと思っております。

まずは、みなさま方の御意見を伺いたいです。

手続き上の不備なら、東京都に統一してもらう必要もありますし。前々回の運営委員会で会費請求の準備を始めるということになっていましたが、その後の状況は。

### 【検討の概要】

半田

→手帳に自立支援医療の番号を載せる必要があるのか？ただ意味のない番号なのではないか。

「職場に対して不必要な情報は出したくない。自分が出さなくてもいい情報を出している気がする。証明能力がないのであれば載せる必要はないはず…。」

運営委員の意見：役所の対応で変わるのだろうか？

都の返答としては、「載ってなくても問題ない、載ってても意味は無い」ここに押して、と。

### 【結論】

各々委員が、中部センターに問い合わせをする。（役所によって対応が違うのかどうか。）

---

### 3. 項目： 相談支援従事者初任者研修の他障害参加環境整備

担当： 相談支援従事者研修企画部会 鈴木卓郎

#### 【要旨】

今年度の相談支援従事者初任者研修の参加者に車椅子利用の方がいます。

バリアフリー化されていない会場が、研修日程の1日だけあります。

そのため、他障害の方が参加できる環境を整える必要があり、協力者を募りたいので、検討をお願いいたします。

#### 【検討の概要】

・71名の応募があり、抽選の結果60名まで絞られた。

・そのうち車椅子の参加者が2名。うち、1人が電動車いすの方。

→10月4日の会場のみエレベーターが設置されていない。

・車椅子の上げ下ろしは当日の人員{亀山、近藤、丹菊}で行うことに。

そのため、研修開始時間に間に合うよう来てもらう。(受付12時半開始13時)

・参加者の中に視覚障害(全盲)の方がいる。

問い合わせ→研修内容のデータを全部送ってほしい。

返答→パワポの資料だけでも送れるように手配をする。

#### 【結論】

・身障センターにもう一度問い合わせる。

・当日の人員{亀山、近藤、丹菊}

・今後、視覚障害の方、車椅子の方への対応を考えなくてはならない。

→募集要項にも問題あった。来年以降は都の会場にするべき。

---

### 4. 項目： 東京都との懇談会の設定

担当： 事務局 丹菊敏貴

#### 【要旨】

##### (1)東京都との懇談会の時期について

今年度の東京都との懇談会の時期について、障害者施策推進部計画課調整担当係長の小川マキさんと打ち合わせを行いました。

懇談会の会場を都庁に確保する場合、1か月前に予約をする仕組みとなっています。

都議会会期との兼ね合いと、会場の確保の都合を考えると、10月中旬以降が現実的だと考えられます。

##### (2)東京都との窓口について

昨年度、それまでの東京都との要望活動を踏まえ、検討事項毎に都庁側の担当者を確認し、とうきょう会議側も検討事項毎に担当者を定め、担当者単位で検討項目の意見交換を年度を通して行うことにしていました。

しかし、この方法もうまく機能しない状況であるという反省から、今年度以降は、事務局が窓口機能をもって推進してゆくことが必要であろうと考えられるので、このことについてご検討をお願いします。

### (3)東京都との検討事項の抽出について

毎年、東京都福祉保健局障害者施策推進部精神保健・医療課は「東京都の精神保健福祉の動向」（「特別区・島しょ編」及び「多摩地域編」）を、東京都立精神保健福祉センター、中部総合精神保健福祉センター、多摩総合精神保健福祉センターはそれぞれ「事業概要」を編纂し冊子を送ってきています。

これまで、これらの冊子には「とうきょう会議」としてあまり注意を払ってこなかったのではないかと認識をしています。

思うに、東京都が実施している事業内容については、これらの冊子にまとまっていると考えれば、検討事項の抽出は、これら冊子にまとめられている内容のうちから、特に検討が必要と考えるものを抽出し、東京都との懇談会の際の検討項目として提示することが必要なのではないかと考えますが、皆様のご意見と今後の検討事項抽出方法についてご検討をお願いします。

その他、次のような事項について検討してみてもどうかと考えています。

① 630 調査の情報開示

② 東京都内の病院で、病院敷地内にグループ・ホームや高齢者施設を設置・運営している病院があるかどうか。あるとすれば、どこの病院が設置・運営しているか

#### 【検討の概要】

・都が今後やってほしいことについても質問しても良いのでは。

①630 調査→各市町村には送られている。

都は市町村に対して結果を周知している。出した事を公表してくれと。

しかし、自治体ははぐらかし、ex.杉並は教えたがらない、という現状。

#### 【結論】

(1) 要旨に準ずる

(2) 運営委員の中に窓口で渡せる人間が居るのであれば打診をする。

(3) 「東京都の精神保健福祉の動向」を読み込み中身を精査する必要あり。

→作業としては検討事項をピックアップしていく。その中で、載っていないものがあれば検討。

---

## 5. 項目： 東京都による事業概要説明会開催の企画について提案

担当： 事務局 丹菊敏貴

#### 【要旨】

上記議案2でも触れた、東京都福祉保健局障害者施策推進部精神保健・医療課発行の「東京都の精神保健福祉の動向」（「特別区・島しょ編」及び「多摩地域編」）並びに、東京都立精神保健福祉センター、中部総合精神保健福祉センター、多摩総合精神保健福祉センター発行の「事業概要」について、会員と共有する方法がありませんでした。

東京都は冊子の編纂と配布を通じて情報発信をしてくれている中、「とうきょう会議」側は、東京都が何をしているか知らないというのでは、東京都と協働して東京都の精神保健福祉を考えてゆくという形にはならないのではと懸念しています。

そこで、来年度以降の活動として、年に1度、東京都の関係者をお招きして、東京都が発行している「東京都の精神保健福祉の動向」と、3センターの「事業概要」に関する、概要説明会を企画・開催してはどうかという発想が事務局でありましたので、ご検討ください。

#### 【結論】

やりたいことを都に伝える。(来年度に)

---

## 6. 項目： Tokyo Letter の掲載事項について

担当： 事務局 丹菊敏貴

### 【要旨】

本来、先月の運営委員会で検討すべきものでしたが、失念してしまい検討もれとなっております。

次号 Tokyo Letter の掲載事項についてご検討下さい。

### 【検討の概要】

- ・部会の活動報告や 630 調査等のトピックスを発信していく。
  - ・東部まっふの募集のお知らせは必要ではないか。
  - ・イメージとしては、掲載項目を出し、依頼をして、その整理を事務局が行う。
- \*東部まっふの周知と同じ時期にできれば尚良い。

### 【結論】

原稿の期日は ML で改めて配信

11 月頃、東部まっふに合わせて Tokyo Letter を出せるようにする。

内容については ML で提案をしてもらう。(病棟転換のことだったり。)

---

## 7. 項目： 会費請求事務

担当： 事務局 丹菊敏貴

### 【要旨】

前々回の運営委員会で会費請求の準備を始めるということになっていましたが、その後の状況は。

### 【検討の概要】

### 【結論】

ゆうちょ銀行に依頼していた印字「払込取扱票」が届きました。

日常業務日程の都合で、請求書発行は今日までにできていません。

会員の方からは、会費納入時期についてお問い合わせもいただいています。

9 月の第 1 週には対応ができそうなので、9 月上旬には発送できるよう作業を進める予定です。

---

## 8. その他 (各部会報告・連絡等)

◆東京都自立支援協議会

◆東部ブロック

◆スポーツ企画部会

### 【報告】

(1) 第 1 回実行委員会 2014,6,14 14:00~17:00 中部精神保健福祉センター研修室

- ・今年度の実行委員会の日程、準備スケジュール
- ・実行委員の役割分担
- ・参加申込書、競技規則の検討
- ・フットサル大会報告
- ・その他

※参加チームが減少傾向にあるので少しでも参加しやすくするために参加チームが少ない。

競技部門を廃止。今までの交流部門を一般部門に改名し (スタッフ 1 名まで) スタッフが 2 名ま

で出場できる特別部門を作ることになった。

(2) 第2回実行委員会 2014,8,21 14:00~17:00 中部精神保健福祉センター研修室

- ・申込状況報告
- ・各担当の状況報告
- ・キャプテン会議に向けて検討

※当日、弁当業者を3社頼んでいるが、会員事業所の中で弁当作りをしているところにも出店してもらったらという意見が出て採用された(別紙参照)

(3) 今後の実行委員会予定 9月18日、9月30日(キャプテン会議)、10月31日、12月12日

(4) <スポーツ交流祭 第31回バレーボール大会 11月20日(木) 申込状況>

一般部門 39チーム(東部21チーム、中部7チーム、多摩11チーム)

特別部門 15チーム(東部6チーム、中部7チーム、多摩2チーム)

事業所数 東部40事業所、中部17事業所、多摩12事業所 合計69事業所

当日の参加者予想 東部600名、中部304名、多摩188名 合計1,092名

\*大会参加費の支払締切:9月22日

◆研修部会

◆支援センター部会

◆都精民協担当

次回の都精民協

日時:2014年 10月29日(水) 18:15~

場所:東京都社会福祉協議会会議室

内容: てんかん協会の方、免許証のことに関して

◆事務局

◆その他

- ・病地学会(病院地域精神医学会)の研修

岩下先生や長谷川先生がいらっしゃる。

とうきょう会議として、弁当の販売、自主製品の販売だったり協力できれば。

(八王子や青梅の多摩地区の事業所で弁当販売できれば良いのでは?)

10月6、7日に実行委員会がある。

とうきょう会議から2名 あおば福祉会から2名参加の予定。

- ・とうきょう会議のパンフレットについて

→A4の両面で三つ折り。鈴木卓郎さんがやる

- ・あみ 関東ブロックの研修

→11月22日帝京平成大学にて。150人定員(東京で100人は呼びたい。)

どうたいさん 行政報告だけでなく他も話せるように。

実行委員:あおば福祉会、社事大、横浜あたりの職員が集まっている。

次回の運営委員会 9月25日(木) 19:00~ 場所:すぎなみ151

以上